

島根原子力発電所の運転状況（平成20年7月分）

中国電力担当分

【1号機】：全期間原子炉定格熱出力一定運転を行った。
 【2号機】：平成20年7月3日制御棒パターン変更。それ以外の期間は原子炉定格熱出力一定運転を行った。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	今月の設備利用率(%)	今月の発電電力量(万kWh)	8月20日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	101.2	34,631	運転中 (H20.4.20 ~)	7/22, 復水貯蔵タンク横の地下配管ダクト内において、高圧注水ポンプ 1 試験用の戻り配管 2 からの水の滴下および床面の水溜り(約2.4リットル)を発見し、8/2 までに当該配管を補修。 当該部分の点検を行ったところ、配管とサポートの溶接部に3箇所(長さ:5~6センチ)の亀裂を確認。また、漏れ水の放射能分析を行った結果は測定器の検出限界値以下。 原因は高圧注水ポンプの定期試験等によって当該配管に振動が発生し、配管とサポートの溶接部に力が集中して、亀裂が発生・進展したものと推定。 当該配管は金属性の接着剤による補修を行うとともに、配管の振動を抑え亀裂の進展を抑制する対策として、適切な位置にサポートを追加。 なお、次回定期検査で配管を取替える予定(中国電力幟公表済)。 1 高圧注水ポンプ 非常用炉心冷却系の一つであり、冷却水喪失事故時に原子炉へ水を注入する設備。 2 試験用の戻り配管 定期試験を行う際に、原子炉へ注入することなく設備の性能が確認できるようにポンプ出口から復水貯蔵タンクへ水を戻すために設けている配管。
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	98.2	59,920	運転中 (H19.7.22 ~)	

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象 該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象 別紙のとおり

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

	当月末保管量(前月比増減量)	当月発生量	当月処理量 ²	7月末現在 前月末保管量
ドラム缶保管量 (本)	22,861 (10)	308	318	22,871
その他の種類の保管量(本相当)	4,862 (22)	53	75	4,884
合計	27,723 (32) ¹	361	393	27,755

1 保管能力: 35,500本 2 処理方法: ドラム缶減容処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ） 7月末現在 (単位: 体)

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	360	1,708	2,068
貯蔵容量	1,140	3,518	4,658
管理容量	660	2,818	3,478

管理容量 = 全容量 - (1 炉心分¹ + 1 取替分²)
 1: 1号機 400体 2号機 560体
 2: 1号機約 80体 2号機約 140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。(単位: Bq)

	放射性気体廃棄物		放射性液体廃棄物	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素(I-131)	トリウムを除く	トリウム
原子炉施設合計 (今年度累計)	ND ¹ (ND)	ND ² (ND)	ND ³ (ND)	2.3 × 10 ¹⁰ (9.4 × 10 ¹⁰)
号機別 内 訳	1号機 ND ¹	2号機 ND ²	ND ³	1.6 × 10 ⁷ 2.3 × 10 ¹⁰
年間放出管理目標値	8.4 × 10 ¹⁴ ⁴	4.3 × 10 ¹⁰ ⁴	7.4 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹² ⁵
サイトバンカ建物	-	ND ²	-	-

1: 検出限界値 約 2 × 10² Bq/cm³ 以下
 2: 検出限界値 約 7 × 10⁹ Bq/cm³ 以下
 3: 検出限界値 約 2 × 10² Bq/cm³ 以下
 (⁶⁰Co で代表)
 4: 年間放出管理目標値は、平成17年4月から見直された。
 5: 年間放出管理の基準値を示す

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

		今月分			先月の実績			安全協定で定める 通報基準値
		最小	平均	最大	最小	平均	最大	
排気筒モニタ	1号機	5.2	6.0	7.0	5.0	6.0	6.9	500 ⁶ (1,000 ⁷)
	2号機	2.8	3.3	3.8	2.8	3.3	4.2	500 ⁶ (1,000 ⁷)
放水路水モニタ	1号機	2.3	2.6	3.3	2.3	2.6	3.6	7 ⁶ (70 ⁷)
	2号機	3.6	4.2	4.8	3.6	4.3	5.3	8 ⁶ (80 ⁷)

6: この状態が10時間続くとき
 7: この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）(中電データ、県データ) (単位: nGy/h)

	敷地境界モニタリングポスト(中電管理分)							環境放射線情報システム(県管理分)										
								西浜佐陀	御津	古浦	深田北	片句	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結
平均値	21	24	31	22	28	26	平均値	53	41	40	29	44	37	30	34	36	38	43
最高値	36	37	42	35	42	38	最高値	66	57	55	41	55	50	45	49	52	51	54
月平均の変動幅	19~23	23~27	30~34	21~25	28~31	26~29	平常の変動幅(上限)	87	71	68	56	68	64	64	57	73	68	73
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値	164	129	105	106	112	114	118	192	127	100	111

上講武は8月より移設したため、参考値

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室
 電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930
 中国電力(株) 島根原子力本部 広報部
 電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

- (1) 環境放射線及び温排水測定結果... 県が実施する調査結果と併せて「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。
- (2) 島根原子力情報伝送システムの伝送計画及び実績... 環境放射線情報システムやインターネットでリアルタイムで公表している発電所情報の伝送計画及び実績であり、長期欠測等については、その都度事前にインターネット等でお知らせしている。
- (3) 地震発生時の発電所の状況連絡... 震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。